HOP, STEP, JUMP in 標津

「～夢いきいき 萌える海と大地～ みんなで創る 新世紀」

広報しべつ
12
2002
No.430

キラリ輝く「番屋鮭」

大きくて美味しそうなサケがずらりと寒風干しされている標津漁協・産地加工センターの屋上。九月上旬に獲れた五キロ級の厳選されたサケを昔ながらの「山漬け」の手法で作られるのがこの「番屋鮭」。塩にじっくり漬け、海水から真水に段階的に戻してから浜風で干した人気の逸品。塩気の中に濃厚な旨みがぎっしり詰まっています。番屋鮭は十二月上旬までに千本限定で作られ、主に歳暮用として地元をはじめ関東や関西などのデパートに出荷されます。（写真は十一月十五日撮影）

振り返って…

いろいろなことがあった2002年。
今年の主な出来事を振り返って
見ました。

2002年

14年度町予算 過去最大の減少

平成十四年度一般会計予算総額が五十九億二千二百万円に。前年度当初比で九億九千百万円の減。過去最大の減少率に。（4月）

大菅選手オリンピック出場

スピードスケート・本町出身の大菅小百合さんがソルトレークシティーオリンピックに出場。メダルは次回に期待。（2月）

「料理の鉄人」がやってきた！

テレビでおなじみの料理の鉄人・陳建一さんがホタテ料理ショーで来町。「標津のホタテはぷりぷりして活きがいいね」と絶賛。（5月）

5人が全国中学スケート大会に

「目指せ！大菅選手」―。全国中体連スケート大会（山梨県）に本町から五人が出場。渡部裕太郎くんが五千㍍で見事二位に。（2月）

「エコ・ツーリズム」本格始動

滞在型の体験観光事業「エコ・ツーリズム」が本格的に始動。今年は修学旅行で関東、関西の小中学生二百五十九人が滞在。（5月～）

川北冬のつどい会場に5千人

二千人ビンゴや花火などでにぎわった「キラリ標津2002ナイトイン川北冬のつどい」。会場には寒さを吹き飛ばす熱気が。（2月）

合併に関する説明会で議論

市町村合併問題について広く住民の皆さんに考えてもらおうと、住民説明会を町内各地で開催。住民からさまざまな意見が。（5月～）

全国で見事金賞 標津高吹奏学部

全日本リコーダーコンテスト（東京）で、標津高校吹奏楽部が金賞に。「小さな学校でも頑張ればできる！」と顧問の柴田教諭。（3月）

振り返って2002年

防災拠点漁港に標津漁港が

標津漁港が道内七番目の防災拠点漁港に。根室管内が災害時の際、救援や物資輸送等を行う活動拠点として重要な役割を担う。（7月）

町の文化財新たに４件指定

町の文化財として、①旧標津駅転車台②馬頭観音菩薩③旧藤野牧場のカラマツ④川北海軍航空基地掩体壕跡を指定。（9月）

盛り上がった「水・キラリ」

「町民祭り水・キラリ」が盛大に開催。より魅力的な祭りにと、住民組織の「町民祭り研究会」が発足。来年がさらに楽しみに。（8月）

アジア大会・自転車で銀メダル

第十四回釜山アジア大会で本町出身の大菅小百合さんが、自転車女子五百㍍タイムトライアルで銀メダルを獲得する快挙。（10月）

防犯協会創立50周年

町防犯協会が創立五十周年を記念して、北海道警察音楽隊とカラーガード隊による市街パレードやドリル演奏を披露。（8月）

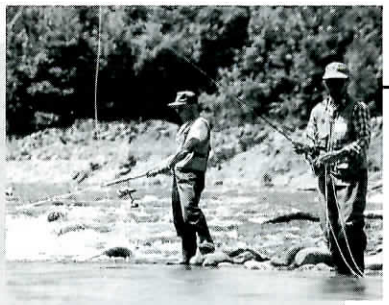
まちづくり研究開発会議発足

行政と住民との協働のまちづくりをと、「まちづくり研究開発会議」が発足。委員は三十人。まちづくり議論がさらに活発に。（10月）

おめでとう吉村さん100歳

百歳を迎えた吉村ふちさん。本町で一番の長寿。「常に物事に強い関心を持つこと」が長生きの秘けつと話す元気な吉村さん。（9月）

忠類川・過去最高の釣果に

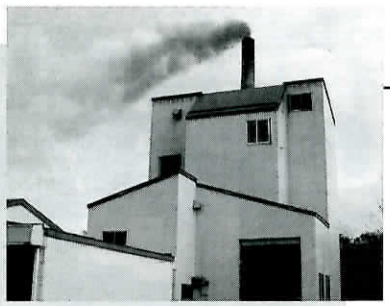


八年目を迎えた忠類川サケ・マス釣獲調査。今年は合わせて二万三千六百九十六尾。11月20日現在と過去最高の釣果に。（11月）

オホーツクマラソン30回の節目

三百三十三人が出場したオホーツクマラソン大会。フォーク歌手・高石ともやさんも出場。三十回記念大会を盛り上げる。（9月）

清掃センターの焼却施設閉鎖



ダイオキシンの抑制を目的とした法律改正により、清掃センターの焼却施設が閉鎖。当分の間、「可燃ごみ」は根室市へ運搬。（12月）

奥さんに日ごろの感謝を込めて…

十月二十六日、東茶志骨地区の有志で組織している「ふきのとうの会」の男性メンバーが、いなり寿しやカジカ汁など、豪快な「男の手料理」を振る舞いました。

同会は、地域の交流の場が年々少なくなっていることから親睦を目的に十年前に発足。現在のメンバーは、二十歳代から五十歳代の十八人。発足以来、花見やスポーツなどの交流会を実施。八年前から、男性メンバーが、日ごろの奥さん方への感謝の気持ちを込めて始めたのがこの「男の手料理」。

この日は、会場の東茶志骨会館に男性八人が集合。エプロン姿で台所に立ち、二時間以上かけて料理を作り上げました。また、各家庭からもカレイの刺身やエビなどを持ち寄り、テーブルにはたくさんの料理が所狭しと並びました。

会長の山本義博さんは、「日ごろから家庭を支えてくれている奥さん方に感謝して、毎年、腕を振るっています。回を重ねる毎に味の方も好評のようです。今後も続けていきたいですね」と話しています。

漁協・佐賀さん 納税功労で表彰

標津漁協・専務の佐賀陽一さん(66歳)が、根室支庁の平成十四年度納税功労者表彰を受賞。十一月十二日、役場で表彰式が行われ、能田根室支庁長から表彰状が手渡されました。

佐賀さんは、昭和三十年から現在までの四十七年間、同漁協に勤務。その間、各地区の納税貯蓄組合業務に携わり、口座振替による納税勧奨など組合員の納税思想の普及に尽力。その永年にわたる功績が認められました。

佐賀さんは、「これからも組合員の納税意識の高揚に努めていきたい」と話しています。

141人がステージで熱唱

第十六回町高齢者演芸発表大会が十月三十一日、文化ホールで開かれました。

約二百四十人が訪れた会場のステージでは、お年寄りが自慢の歌や踊り、三味線、手品、寸劇を披露。お昼には「弥生会」をはじめとするボランティアの方々による豚汁が提供され、楽しいひとときを過ごしました。

思いはいつも ふるさと標津に…

第二十四回東京標津会の総会・懇親会が十月二十七日、東京都港区のホテルで開かれ、首都圏在住の本町出身者ら約九十人が出席しました。

本町から金澤助役や荒谷町議会議長ら十四人も出席。同会の鈴木副会長が「懐かしい私たちのふるさと標津をしのぼう」とあいさつ。

金澤助役からは、「七月に防災拠点漁港として標津漁港が開港した」などと町の近況報告を。参加者は懐かしい標津の思い出話に花を咲かせていました。

環境にやさしい〝石けん作りに挑戦〟

十一月十九日、町消費者協議会の会員が講師となり、川北小学校六年生を対象に、石けん作り教室を開催。生徒に、廃油を再利用して、約五十個の石けんを作りました。

同協議会では、この活動のほかに生ゴミの減量化や食に関する問題など、消費者の身近にある問題にも取り組んでいます。

玉置会長は「今後は、町内会や団体などに呼びかけてこのような教室を開いていきたい」と話しています。

サッカーボールを寄贈

中標津を中心に倉庫内でのチャリティーライブを企画している「I LOVE道東実行委員会」が十一月十四日、町教育委員会を訪れ、町内の全小中学校十一校にサッカーボールをそれぞれ寄贈しました。

「イベントで得た収益で、協力いただいた各町に何か還元したかった」と同会の江西代表。

鳥井さん町長賞に

パキラ展示会

標津町百二十年を記念して、平成十一年七月に町内全世帯に配布したパキラ(観葉植物・配布時高さ十五㌢ほど)の生長ぶりを競う展示会が十月二十六日から十一月九日まで、あすぱるで開かれました。

審査の結果、鳥井潤子さん(古多糠)が町長賞に選ばれ、町から記念の盾と鉢が贈られました。

出展したのは九人。審査員は、造園会社(帯広)の専門家二人。葉の色艶や数、幹の太さ、全体のバランスなど十項目にわたり審査。鳥井さんのパキラは、高さ一五八㌢にも生長し、しかも全体のバランスも良いことなどから高得点に。鳥井さんは今までに二度一回り大きな鉢に植え替え、その際に肥料を土と一緒に混ぜ、直射日光に当てないように育ててきたと言います。

「せっかくの機会なので出展しましたが、まさか選ばれるとは…。パキラが配布されてから、緑に興味を持つようになりました。今では家族の一員のように愛着を持っています。これからも大切に育てたいですね」と鳥井さんは笑顔で話しています。

それぞれの思いを中学生が力強く主張

第42回町（中学生）弁論・研究発表大会が11月19日、あすぱるで開かれました。

弁論の部では、13人の町内の生徒がそれぞれの思いを主張。「夢を持つ人たちへ」と題し、自分自身の誇れる夢の大切さを主張した標津中学校２年の澤口舞さん（写真）が最優秀賞を受賞。

研究発表の部では、「石けんと合成石けんが環境に与える影響」を発表した薫別中学校が最優秀賞を受賞しました。

NHK「ふるさと自慢うた自慢」公開録音終了

600人が歌とトーク 楽しむ

歌とトークで会場を沸かせた出演者の皆さん

●地元出演者…〈男性〉田中喜市、福澤英雄、住田政徳、安達永補
〈女性〉瀬谷アイ、森井ヒサコ、我妻沙耶香、更谷菜穂美（敬称略）

熱唱するキムヨンジャさん（写真上）と渥美二郎さん

ＮＨＫと町、町教育委員会の共催でＮＨＫラジオ第一放送「ふるさと自慢うた自慢」の公開録音が十一月十五日、約二時間にわたり、町生涯学習センター・あすぱるで行われました。

◇　◇

第一部では、ＮＨＫの森下和哉アナウンサーの司会で、ゲストに歌手のキムヨンジャさんと渥美二郎さんを迎え、地元からは、八人の方々が出演。男性と女性チームに分かれ、それぞれがふるさと標津町の自慢話を語り、得意ののどを競い合いました。

審査員は、地元から三戸俊雄さん（町社会福祉協議会会長）と伊藤香里さん（根釧東部森林管理署署長）、ＮＨＫ釧路放送局・川澄局長の三人。会場には約六百人の観客が詰め掛け、出演者による一時間ほどにわたる歌とトークに、会場は大いに盛り上がりました。

大きな拍手を送る観客の皆さん

第二部では、ゲストによる持ち歌が披露され、観客から大きな拍手が送られていました。

当日の模様は、ＮＨＫラジオ第一で、一月十一日と十八日午後九時～五五分に全国に向けて放送されます。ぜひお聴きください。

公開録音に先立ち当日、町生涯学習センターで「ＮＨＫ視聴者懇談会」を開催

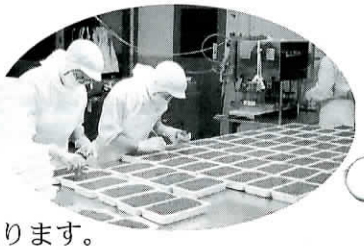
この懇談会は、ＮＨＫ釧路放送局が地元の視聴者の皆さんからＮＨＫに対しての意見や要望をお聞きし、ＮＨＫの経営や番組に反映することを目的に開かれたものです。

まず初めにＮＨＫ釧路放送局・川澄局長から、「地域の再生」などの三本柱で同局の番組制作にあたっていることを説明。その後、出席した地元の八人の方から、「政治番組は固いように思う。政治を身近にするためにも、もっと柔らかくできないか」「漁業振興のため、先進的なまちの成功事例を紹介する番組を放送してほしい」など、多くの意見や要望が寄せられました。

ご・ち・そ・う・賛・歌（教育テレビ・全国放送）

「ごちそう賛歌は、地域の食文化を担ってきた職人たちの心意気や驚きの技、時代に逆行しても守っていきたい「何か」を持ち続ける人々、いわば〝食の人間国宝〟ともいえる存在の発掘を目指します。
またなぜその土地で、その食べ物が「ごちそう」として食されてきたのかという歴史的・風土的な背景にも迫っていきます。

標津町の最高級の「塩イクラ」を全国に発信します!



日本一の「サケの町」標津町の「ごちそう」は、サケから採れるイクラ。特に塩水だけでつくる塩イクラは、しょうゆや酒を使わない最高級品です。町をあげての取り組みや、塩イクラを支える職人さんたちのこだわりに迫ります。

放送予定/12月6日(金)午後8時～午後8時45分（「金曜アクセスライン」内の番組です）

情報 くしろねむろ 放送中

月～木 午後6時45分～7時　金 午後6時30分～7時

地域のきめ細かいニュースやあなたの知りたい生活情報。「地域の人の顔が見える」をモットーにNHK釧路放送局が総力を挙げて放送している、地域を応援する生活情報番組です。

～受信料のお支払いは～

口座振替がお得です。

公共料金で口座振替による割引があるのは NHK だけです。

現在の受信料プラス月々945円で、NHK衛星放送がお楽しみいただけます。

カラー契約で12か月前払いの場合

1年間で1,830円お得

訪問集金	2か月払い×6回	2,790×6＝16,740円
口座振替	12か月前払い	14,910円
	差額	1,830円

口座振替のお申し込みは、NHKの担当者またはお近くの金融機関・郵便局へどうぞ。

NHK お問い合わせは 釧路放送局営業部 ☎(0154)41-9194

「手品は人を喜ばせる快感があるんです」

キ・ラ・リ ひと

大山 定雄さん（茶志骨パイロット）

SADAO OHYAMA

蝶ネクタイとえん尾服を身にまとい、軽快な音楽にのせたリズミカルな手と足の動き。赤いハンカチからさり気なく白い鳩を一羽二羽と出す…。会場から大きな拍手が起こると、今度は万国旗が次々と出てくる。お客さんは大喜び。町高齢者演芸発表大会が開かれた文化ホールのステージに立つ大山さん(68歳)のさっそうとした姿がありました。

その見事な手品の腕前には、定評があります。それもそのはず、三十四年の手品のキャリアを持つ「標津のマジシャン」なのです。レパートリーは三十種くらいで、一番得意なのは、「鳩出し」。それから、真っ白な紙を一万円札に換える手品。このほかに、最近では披露していませんが、「美女の胴切り」や「人体交換」などの大掛かりなものもやるそうです。

「手品を始めたきっかけは、自分は宴会で歌を唄うのが大の苦手。そこで歌の替わりに何かできるものはないかと考えたんです。それが手品だったんです。それから手品のサークルに入り、習い始めました」

手品を始めて十年ほど経ってから、町内の保育園や幼稚園、神社例大祭、演芸大会、結婚式などで頼まれるようになり、多くの人を楽しませる大山さんの手品は引っ張りだこに。現在もいろいろと頼まれることが多いそうです。「結婚式では、『二人の絆』というロープで手品をやるんですよ。『切っても切れない二人の絆…』というようにね。これが受けるんですよ」と楽しそうに話す大山さん。

「手品の魅力は、うまく人をだませたその瞬間がたまらないんです。それが愉快で、人を喜ばせる快感がそこにあります。失敗する時もありますが、素知らぬ顔をして気づかれないようにごまかすことも必要。自分の手品で皆さんが喜んでもらえれば何より。自分の体が続く限り、これからも手品をやっていきたい」。ステージのスポットライトに照らされた大山さんの表情は、生き生きと輝いて見えます。

標津のここ これが好きなんです。

「忠類川」が好き

長田（おさだ） **雅裕**（まさひろ）さん（南３西１）

「大自然に囲まれた忠類川は、釣りマニアにとって最高の場。全国の釣り人との交流の場でもあり、大好きなんです」と話す横浜出身の長田さん(22歳)。

今から六年前、長田さんが高校三年の時、お兄さんに連れられてきたのが忠類川との初めての『出合い』。「全国で初めて河川でサケやマスが釣れたのが忠類川。この時は釣れなかったけど、翌年、友達と二人で来てマスが釣れ、そして三年目にはついにサケを。都会は養殖の魚。ここは野生の魚。魚が暴れて釣れる瞬間が何ともたまらないんですよ」

それから毎年、七月から十月までの間、本町に訪れ、アルバイトをしながら忠類川に通う毎日。今年三月に大学を卒業後も、やはり忠類川が恋しくて、町内でアルバイトをしながら本町に長期滞在中。

「ここでは釣り仲間がたくさんできました。みんないい人ばかり。地元だけでなく、全国の人とも友達になっています。出来ることなら、この町で何か仕事を探して暮らしたい」。長田さんは、忠類川がよほど好きなようです。

町民・オン・ステージ vol.8

My Dream ぼ・く・の・夢

住田宏斗（すみたひろと）くん（標津小6年）

「野球の選手に」

ぼくの夢は、プロ野球選手になることです。ぼくが野球を好きになったわけは、二年生か三年生の時、いとこの家に行ってキャッチボールをしたことがきっかけでした。その時ぼくは、野球が全然わからなかったけれど、いとこにフライを投げてもらったり、ゴロをころがしてもらって教えてもらいました。ぼくは「野球ってすごくおもしろいスポーツだな」と思いました。

その後ぼくは、野球少年団に入りました。最初は中村監督に「たまごのとり方をしろ」と言われていました。ぼくは、あんまり上手ではなかったけれど、だんだんいろいろなことができるようになってきました。

五年生の秋に初めて全道大会に出場できました。その大会では初戦で負けてしまいましたが、よい経験になりました。

六年生になってからは、全道大会でよい成績を残そうと、練習をますますがんばりました。ぼくのポジションはショートで、打順は二番です。守備では、五ノ井監督のノックを毎日受けてきました。打者としては、二番なのでバント練習もよくやりました。全道大会では、一回戦、二回戦と勝ち進むことができてうれしかったです。準決勝では、あと一歩のところで負けましたが、野球をやってきてよかったです。ぼくは、中学校でも野球を続け、将来はプロ野球選手になって、いっぱい活やくしたいです。

達者なじいちゃんばあちゃん JICHAN/BACHAN

佐々木信一（ささきしんいち）さん
（南2東1・77歳）

一生涯、学習です

「趣味で毎日が忙しいが、目的があることは生きがいになる。学ぶことによって若返ったよ。一生涯、学習です」と話す佐々木さん。

六十五歳を機に、今まで経験がなかった書道や詩吟を始めました。書道サークルの東海書道に所属し、準師範の腕前。今後、さらに上を目指したいといいます。また、週一回、生涯学習センターに通い詩吟の稽古にも励んでいます。

昭和三十七年から現在もなお、国勢調査や工業統計調査など、数多くの統計調査員としても活躍しています。

今年、金婚式を迎えた佐々木さん。「この五十年間は、あっと言う間だった。今までは夢中で生活してきたが、これからは第二の人生を、趣味などで有意義に過ごしたい」と充実感あふれる笑顔が印象的でした。

若さでアタック YOUNG MAN/WOMAN

中田博之（なかたひろゆき）さん
（南4西2・22歳）

多くの町民の方と接していきたい

「お客様には、元気でハキハキとした言葉使いで接するように心がけています」と話す、標津郵便局に勤める中田さん。道南の七飯町出身で、一度は岩手県の郵便局に勤めていたものの、道内での勤務を強く希望し再度試験を受け、昨年四月から本町で勤務。「広大な牧草地と、長い直線が続く道路には驚きました」と中田さん。

休日は、友人とドライブや音楽鑑賞を楽しんでいます。また、地元のミニバレーボールチームに所属し、チームメイトとも交流を深めています。今年からスノーボードを初める予定で、ツアーも今から計画中だとか。

「標津の人は人情的で温かい方が多いですね。色々な趣味やイベントを通じて、多くの町民の方々と接していきたいですね」

みんなの広場

このコーナーは、読者のページです。
あなたの声をお寄せください。

清掃センターへゴミを持ち込みたいのですが…

Q 毎年、大量のごみが出ます。今年は、清掃センターにトラックなどで直接ごみを持ち込みたいと思っていますが、どのような手続きをとれば良いのでしょうか。

A 大量のごみが出た場合、直接清掃センターへ持込みできます。この場合、「廃棄物処理券」が必要です。役場住民課と川北生涯学習センターで購入できますので、その券を同センターの係員に提出してください。

持ち込むごみは、あらかじめ①可燃ゴミ②不燃ゴミ③資源物④粗大ゴミに分別し、同センターの係員の指示に従ってください。

なお、「家電リサイクル法」（平成十三年四月）の施行により、テレビ、冷蔵庫、洗濯機などの家電製品は、粗大ごみとして処理することはできません。タイヤやタイヤホイールも同様ですので、取り扱い店または指定引き取り場所に申し出ください。

●廃棄物処理券料金（税込み）
※トラックの積載量により料金が変わります。
▽一㌧未満…千五十円
▽一㌧以上二㌧未満…二千百円
▽二㌧以上四㌧未満…三千百五十円
▽四㌧以上六㌧未満…四千二百円
▽六㌧以上…五千二百五十円

なお、**年末の清掃センターの業務は、十二月三十日の正午まで**行っています。

★お問い合わせは、住民課（担当：志道・吉田・斉藤・森）まで。

◇

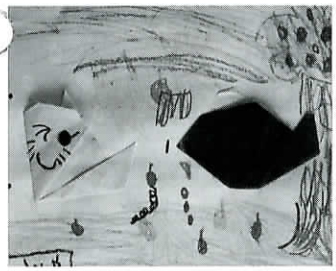
「みんなの広場」は、読者のページです。町や広報誌へのご意見・要望などをお寄せください。

▽あて先
標津町北二条西一丁目一番三号
役場・企画振興課
「みんなの広場」まで。

作品紹介

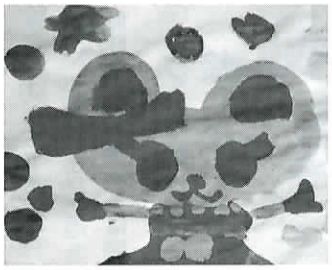
今月は、川北幼稚園児の作品を紹介します。

（敬称略）

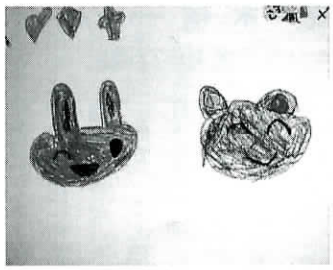


「きつねとたぬき」
飯山慎也（5歳児）

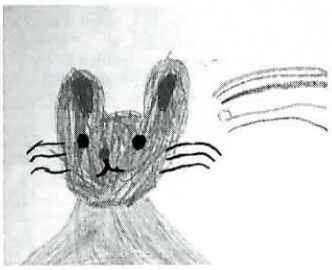
「ハート」
飯山香里（5歳児）



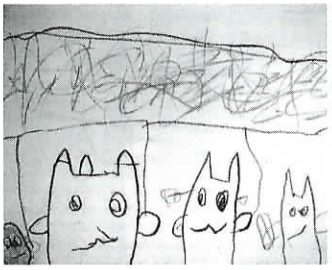
「うさぎ」
立島奈央子（5歳児）



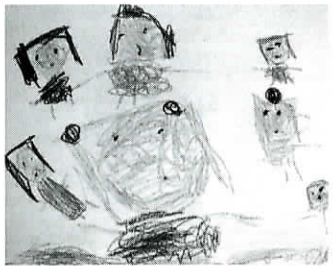
「うさぎとくま」
徳永実和（5歳児）



「うさぎ」
蔭山莉菜（5歳児）

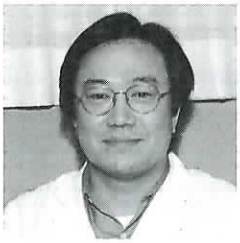


「ハムスター」
小室遼士（5歳児）



「セーラームーン」
阿部美加（5歳児）

こんにちは 標津病院です



標津病院
大野高義院長

「水虫（皮膚真菌症）について」

皮膚真菌症とは、真菌（カビ）が皮膚に寄生して起こる感染症のことですが、代表的なものに、水虫（足白癬）があります。

水虫には三つのタイプがあります。趾間型とよばれる足の指の間が爛れて、皮がむけてくるタイプ、小水疱型とよばれる、足の裏や側面に小さな水疱がたくさんでき、強い痒みと発赤を伴うタイプ、角質増殖型とよばれる足の裏全体が乾燥して白く粉をふいたようにカサカサになり、かかとの皮膚が厚く、ひび割れてくるタイプとがあります。

白癬菌感染の診断は、皮膚の一部を取ることで簡単に検査することができます。

水虫のうち趾間型、及び小水疱型は痒みを伴うため、発見は比較的早く、塗り薬が有効であるため、特に問題はありませんが、角質増殖型は、自覚症状が軽く、また、見た目も水虫らしくないため放置されている場合が多く、そのため、爪の根元にまで感染がすすみ、爪が変形してしまう爪白癬の合併が多くなります。

この場合は塗り薬だけでは治療が難しくなりますので、飲み薬との併用治療が必要となりますが、最近は効き目がよく副作用の少ない薬が開発され、高い治療効果が期待できるようになりました。

白癬菌は、体のどこにでも寄生しますが、場所によってよび方が異なります。頭は頭部白癬（シラクモ）、股間は、股部白癬（インキンタムシ）、その他の部分は、体部白癬（ゼニタムシ・タムシ）とよびます。

また、家庭のペットや家畜がこれらの感染源となる場合もありますので、注意が必要です。いずれにしても、治りにくい皮疹でお悩みの方は、一度最寄りの医療機関でご相談ください。

新しい医師が着任しました。

松永医師の後任で永渕医師(内科)が、谷川医師の後任で小池医師(外科)が着任しました。

永渕義朗医師（内科）

小池健太医師（外科）

●外来診療日程表（一部変更になりました。）

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科	午前	大野院長 竹尾医師	永渕医師	大野院長 永渕医師	竹尾医師	大野院長 永渕医師
	午後	永渕医師	竹尾医師	永渕医師	大野院長	竹尾医師
外科	午前 午後	小池医師	小池医師	小池医師	小池医師	小池医師

■受付時間　午前8時45分～11時
午後1時～2時30分

※夜間診療（内科）は毎週月曜日、午後5時から6時30分

★お問い合わせは、標津病院（☎2-2111）まで。

友好都市・青森県 大畑町では…㊵

町の振興に功労

～平成14年度大畑町表彰式～

平成十四年度の大畑町表彰式が十一月三日、中央公民館で行われました。

この表彰式は、町の政治、経済、文化その他各般にわたって功労のあった方や広く町民の模範となった方を表彰するものです。

本年度は、特別自治功労四人、自治功労十一人、文化功労一人、善行表彰四人がそれぞれ表彰されました。

また、十一月十五日には、第三十五回青森林友記者賞の授賞式が青森市で行われ、大畑町の柴田円治さんが見事受賞しました。

柴田さんは、旧大畑営林署在職中の昭和二十八年から、奥薬研にある「大畑ヒバ実験林」の生みの親である松川恭佐氏の下で「実験林の山守」として、また、実験林の生き字引として施業管理や山火事防止の啓発・指導に努め、森林の保護や管理に貢献してきたことが高く評価されました。

◇　◆

※このコーナーは、友好都市の互いの話題を毎月紹介しています。

＊年末・年始の休業日程＊

■役　　場（☎ 2-2131）
12月31日から１月５日まで閉庁
※急用については随時受付します。

■標津病院（☎ 2-2111）
12月31日から１月５日まで休院
※ただし、急患は随時受付します。

■保健福祉センター（☎ 2-1515）
12月31日から１月５日まで休館
※在宅介護支援センター（☎ 2-1288）は随時電話受付します。
（標津病院に転送されます）。

■生涯学習センター（☎ 2-2900）
12月27日から１月5日まで休館

■川北生涯学習センター（☎ 5-2224）
12月27日から１月５日まで休館

■川北児童館（☎ 5-2057）
12月27日から１月５日まで休館

■総合体育館（☎ 2-3112）
12月27日から１月５日まで休館

■図書館（☎ 2-2074）
12月30日から１月６日まで休館

■キラリ児童館（☎ 2-2353）
12月27日から１月６日まで休館

■北方領土館（☎ 2-2422）
12月30日から１月６日まで休館

■し尿汲取り
12月31日から１月５日まで休み

■ごみ収集
12月31日から１月５日まで休み

■町営バス
12月31日から１月５日まで休み

※生涯学習センター、川北生涯学習センター、総合体育館、川北体育館、キラリ・川北児童館は、12月27日から特別清掃により休館。

休館・休園のお知らせ

サーモン科学館とポー川史跡自然公園では、次のとおり休館・休園します。

■サーモン科学館
平成14年12月1日～平成15年1月31日

■ポー川史跡自然公園
平成14年11月24日～平成15年4月28日

BOOK ROOM

今月のおすすめ新刊

『論理的に考える練習』
鷲田小彌太著

「２５題の練習問題を通して論理的思考を実践的に身につける」とありますが、この練習問題がなかなか難しいのです。挑戦してみませんか？

『だからアメリカは嫌われる』
マーク・ハーツガード著

世界１９カ国を巡ったアメリカ人ジャーナリストが自国を告発した本。超大国アメリカは、本当に自由を守る国なのか。

『散歩をもっと楽しくする本』
遠藤昭著

町内にもウォーキングをされている方が多いようですが、この本では散歩の先達、効用、四季の楽しみ方を紹介しています。

●今月の特集：　12月に役立つ本

クリスマスの飾りつけ、年賀状、パーティーゲームなど師走のお役立ちＢＯＯＫＳを展示します。

※12月の休館日（2・9・16・23・24・30・31日）
10・11月と実施いたしました木・金曜日の開館時間延長は終了いたしました。

その他の新刊　（☆は注目の本）

＜　一　般　＞

☆「読書力」斎藤隆著
☆「長期停滞」金子勝著
☆「永遠の不服従のために」辺見庸著・「人生を豊かにするモノ」玉村豊男著
・「この目で見た北朝鮮」三好誠著
・「危ない携帯電話―それでもあなたは使うの？」荻野晃也著
・「片づけられない人のための仕事の本」リン・ワイス著
・「日本国債―借金大国の本当の姿が見えてくる」川上清一ほか著
・「向田邦子の恋文」向田和子著
・「もしかして愛だった」阿川佐和子著

＜　児　童　＞

☆「ひみつのやくそく」古田足日著
☆「昔の盲導犬サブ」新居しげり著
☆「ナナさんのいい糸いろいろ」角野栄子著
・「未来人の家」星新一著
・「家の中では、とばないで！」ベティー・ブロック著
・「そうくんとりすちゃん」藤子・Ｆ・不二雄著
・「かいじゅうズングリのピザやさん」末吉暁子著
・「ピッケとポッケ」とりごえまり著
・「カルちゃん・エルちゃんたかいたかい」いわむらかずお著

スポーツ

☆12月のスポーツ☆

■1日(日)
第9回町民バスケットボール大会
〔9時～総合体育館〕
■4日(水)
スポーツ体験講座
〔16時～総合体育館〕
ファミリー卓球教室（第2回目6日）
〔19時～総合体育館〕
■7日（土）
スポーツ体験講座
〔10時～総合体育館〕
■8日(日)
第25回秋季町民卓球大会
〔9時～川北体育館〕
第21回バレーボールリーグ戦大会決勝トーナメント
〔9時～総合体育館〕
第21回防犯少年剣道大会第25回東西対抗剣道大会
〔9時～鳩ヶ丘体育館〕
■11日(水)・18日（水）・21日（土）
スポーツ体験講座（18日は16時から）
〔10時～総合体育館〕
■14日(土)
エンジョイスポーツ講座
〔10時～総合体育館〕
■15日（日）
第26回管内中学校新人戦剣道大会
〔9時～鳩ヶ丘体育館〕

汲み取り

し尿の汲み取りの申込みは忘れずに

1月のし尿の汲み取り実施地域は次のとおりです。

汲み取りを希望される方は忘れずにお申し込みください。

■汲取実施地域
川北地区、北標津地区
■申込期限 12月25日(水)まで
★申込み・お問い合わせは、住民課まで。

12月の健康相談・健診日程

乳幼児

●離乳食教室
5日(木)
〔13時～14時30分～／ひまわり〕

●乳幼児相談
10日(火)〈標津〉
〔9時～10時・13時30分～14時30分／ひまわり〕
※午前の部～13ヵ月児　午後の部～7・10ヵ月児対象
11日(水)〈川北〉
〔13時30分～14時30分／川北生涯学習センター〕
※7・10・13ヵ月児対象

●2歳児相談
10日(火)〈標津〉
〔9時～10時／ひまわり〕
11日(水)〈川北〉
〔13時30分～14時30分／川北生涯学習センター〕

●4～5カ月児健診
16日(月)・17日(火)
〔13時30分～15時／ひまわり〕
＊2日間の日程で実施します。

●1歳6カ月児健診
16日(月)
〔10時～11時／ひまわり〕

●3歳児健診
17日(火)
〔9時～11時／ひまわり〕

●歯ピカ教室
2日(月)
〔9時30分～10時30分・13時30分～14時30分／ひまわり〕

成人

●一般健康相談
20日(金)
〔13時～14時／ひまわり〕

●糖尿病健康相談(予約制)
12日(木)
〔10時～16時／ひまわり〕

★お問い合わせは、保健福祉センター「ひまわり」（☎2－1515）まで。

ごみの収集日

一般廃棄物収集区域（祭日は休みです）〈有料〉	可燃物	不燃物	資源ごみ 粗大ごみ
川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠 薫別・崎無異・古多糠	水・土	4日(水) 18日(水) 28日(土)	11日(水) 25日(水)
新川上町・若草町・川上町・栄町 緑町・弥栄町・曙町	月・木	2日(月) 16日(月) 26日(木)	9日(月) 23日(月)
本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町 桜木町・住吉町・東浜町	火・金	3日(火) 17日(火) 27日(金)	10日(火) 24日(火)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

くらし

除雪作業にご協力を

今年も積雪の時期を迎えましたが、除排雪作業をより効果的に行うため、次のことについて皆さんのご理解とご協力をお願いします。

■路上駐車の禁止。

■除雪車が作業を終了した車道及び歩道には雪を出さない。

■子供には道路周辺でのソリ遊びなどはさせない。

■屋根の雪が自然落下すると予想される場所には、雪止めなどの措置を施す。

■個人で重機などによる除雪を行う場合は、除雪した雪を車道や歩道に山積みしない。

★お問い合わせは、建設課まで。

税

道税の納め忘れはありませんか？

12月は道税の納税推進強調月間です。道税の納め忘れはありませんか。みなさんの暮らしを支える道税の納税にご協力ください。なお、12月8日（日）は、午前9時から午後5時まで、根室支庁税務課において休日納税窓口を、12月5日（木）と12日（木）は午後9時まで夜間納税窓口を開設します。

★お問い合わせは、根室支庁税務課納税係（☎0153-24-5466）まで。

メールマガジン配信サービス

札幌国税局では、昨年12月から「メールマガジン」の配信サービスを行っています。毎月1回、税に関する情報や国税局が発表した資料などタイムリーな情報を皆様にお届けします。

配信を希望される方は、札幌国税局ホームページ(http//ww.sapporo.nta.go.jp)から登録してください。(無料)

防災

身のまわりの危険物

塗料、殺虫剤、整髪料などの各種スプレー缶は、ストーブなどの前に放置し加熱されると爆発する危険があります。

火のそばで使用したり、火気を近づけないように注意してください。また、子供の手の届く場所にはできるだけ放置しないよう保管してください。

《豆知識》

・外気温が60℃程度であれば、2時間程度で破裂する危険性がある。

・内部が55℃に達すれば破裂する危険性がある。

―標津消防署―

検察

ごぞんじですか？検察審査会

交通事故、詐欺、おどしなどの犯罪の被害にあい、警察や検察庁に訴えたが検察官がその事件を起訴してくれない、このような不満をお持ちの方のために検察審査会があります。費用は無料で、秘密は固く守られます。お気軽にご相談ください。

★お問い合わせは、釧路検察審査会事務局（☎0154-41-4171）まで。

法律

司法書士による電話法律無料相談

釧路司法書士会では、道東地区在住の方々を対象に「司法書士による電話法律無料相談」を実施します。どうぞご利用ください。

■日　　時　12月7日（土）
午前11時～午後7時

■電話番号　01537-3-5602（当日限り）

■費　　用　無料ですが、電話料金はかかります。

★お問い合わせは、釧路司法書士会（☎0154-41-8332）まで。

戸籍の窓口から

（10月11日～11月10日届出分）

■ご結婚おめでとう

山田　文明さん・早瀬　香織さん（桜ヶ丘町）

中條　儀寿さん・尾崎　　愛さん（新古多糠）

戸田　圭亮さん・近藤久美子さん（双葉町）

■おくやみ申し上げます

山崎　方哉さん	（弥　栄　町）	４１歳
疋田　ヨシさん	（栄　　町）	９７歳
髙橋ナミ子さん	（東　川　北）	７９歳
髙橋　雅廣さん	（桜ヶ丘町）	５２歳
中島　吉男さん	（桜　木　町）	６６歳
室谷キヨ子さん	（東　浜　町）	６９歳

寄付・寄贈ありがとうございました

●町社会福祉協議会に――

・髙橋　護さん

・髙橋　いずみさん

・髙橋　和雄さん

・疋田　敏一さん

・聖友標津支所

●はまなす苑に――

・西村　武子さん

・片山　豊彦さん

・川北染覚寺仏教婦人会

・金田寝具店

・標津町商工会女性部

●標津病院に――

・朝倉　勝美さん

・村山　良子さん

・吉川　弘子さん

・大屋　絹子さん

みんなで加入し、みんなで支える“国民年金”

国民年金は、あなたが主人公です

国民年金保険料は忘れずに納めましょう

保険料は20歳から60歳になるまでの40年間、納めることになっています。

老齢基礎年金を受けるためには、この間に25年以上（保険料免除期間やカラ期間を含む）の保険料を納めることが必要です。保険料を未納のままにしておくと、万が一の事故や不幸にあったときなど、年金が受けれない場合があります（障害基礎年金・遺族基礎年金）。また、将来年金を受給できる権利を手放してしまうことにもつながります。10・20年保険料を納めていても将来老齢基礎年金を受け取ることができません。保険料は忘れずに納めましょう。

老齢基礎年金額（平成14年度）

80万4,200円（満額）

〈老齢基礎年金の計算式〉

$$804{,}200円 \times \frac{\text{保険料を納めた月数} + \text{保険料の全額免除月数} \times \frac{1}{3} + \text{保険料の半額免除月数} \times \frac{2}{3}}{\text{加入可能年数} \times 12(月)}$$

■保険料納付証明書は社会保険事務所から発行されます

年末調整や確定申告の際に、納めた保険料は全額所得控除の対象になります。その際に領収書を提示することになります。領収書がない場合は、社会保険事務所から発行されますので、郵送依頼する場合は年金担当までお越しください。

■集合徴収が行われます。

▷**日　時**　12月19日(木)10時～16時

▷**会　場**　役場2階集落センター

※納付書を持参ください

■社会保険事務所相談開設日

▷**日　時**　12月17日(火)13時～17時

▷**場　所**　中標津経済センター

★お問い合わせは、福祉課年金（担当杉本）まで。

市町村合併説明会

市町村合併を巡る最近の情勢や今後の行政運営などについて、次の日程で総務省主催の説明会を行います。皆さんの参加をお待ちしています。

■日　時　12月4日(水)13:30～15:30

■会　場　寿宴（中標津町）

■説明者　総務省自治行政局行政体制整備室課長補佐

労働

北海道最低賃金の改正について

北海道内で事業を含む使用者及びその事業場で働くすべての労働者(臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む)に適用される北海道最低賃金が１０月１日、産業別最低賃金が12月1日より、次のとおり改正されました。

■北海道最低賃金　時間額　637円

■産業別最低賃金

▷乳製品・糖類製造業時間額　712円

▷鉄鋼業時間額　753円

▷電気機械器具・情報通信機械器具・電子部品・デバイス製造業時間額　708円

▷船舶製造・修理業・船体ブロック製造業　715円

※北海道最低賃金の日額は廃止され、時間額のみとなりました。

―北海道労働局・労働基準監督署―

郵便局

年賀状はお早めに

年賀状の引受を12月15日（日）より開始します。年賀状を元旦にお届けするには、なるべく12月24日までにお出しください。

また、年賀状を確実に受取人へ配達するために郵便番号、あて名は番地、方書きまで正確に書き、あらかじめ町内、道内、道外の区分けをして出してください。

★お問い合わせは、お近くの郵便局まで。

第3回

親子わいわいランド（親子学び体験教室）

町PTA連合会では、「標津らしさを楽しむ」「地域・学校・家庭の心つなぎ」をテーマに親子学び体験教室「親子わいわいランド」を次の日程で開催します。

■**日　時**　12月15日（日）

■**場　所**　あすぱる

■**内　容**　乳製品づくり料理、魚を使った料理、リースづくり、ブローチづくりの4教室です

■**対　象**　親子（参加無料）

★12月5日（木）までに、お近くの幼稚園、学校へお申し込みください。

統計調査

「工業統計調査」にご協力を

製造事業所を対象に、工業統計調査が12月31日現在で実施されます。後日、調査員が調査票の記入のお願いに伺いますので、該当する事業所におかれましては調査票の記入、提出についてご協力をお願いします。

★お問い合わせは、担当調査員又は企画振興課（担当畑中・上田）まで。

標津病院

夜間診療の年内終了

標津病院では、毎週月曜日（祝祭日は除く）の5時から6時30分まで夜間診療を実施していますが、年内は12月16日をもって終了します。なお、来年は1月6日より実施します。

まちの声…

(197)

「時間」

「あと何年間も勉強するのは面倒くさいし、かと言って今就職すると給料が安い」―。

進路についての親子相談で高三になる息子の言い分。冗談半分?にしてもノーテンキ。唖然としながら迎えた二〇〇二年もあと二ケ月を切ってしまった。

二〇〇二年と言えばゆとり教育がスタートした年で義務教育の授業内容が三割カットされ、子供達が勉強以外の事が今までより多く経験出来るようになる、そのスタートの年です。建て前は、で、本音はと言うと、また子供達の「のんびり度」に拍車がかかるかな―と思う。子供達の行く末が心配だ。全くウチの子供達は、などと思いながら自分の時の事を考えると、なんだか良く似ている様な気がする。

自分の高校の頃の想い出と言えば、合法的なものでは雪中サッカーや将棋をよくした事ぐらい。子供達のノーテンキなのは自分の遺伝子のせいだったのか。何だかこうして子供達にグチるのも三十年前の自分に言っている様な気がしてきた。そしてグチられる方からグチる立場になってしまった。年齢(とし)のせいかなと思う。

古澤　道郎さん　Michirou Furusawa
古多糠(酪農業)

そんな僕がここ数年PTAの活動に参加する立場になってしまった。保護者としては当然の事だけれど、三十年前の自分が見れば何とも不思議な光景だろうな。これも時間のせいかな。心の教育とか地域の教育振興など、農家のオヤジにとっては畑違いのテーマの連続で、只、もう相づちを打つのがようやくで自分の不勉強さに頭をかく毎日でした。

そう言えば知人のT君、高校の頃は自他共に認めるワル。ところが今では二人の息子に対してウルサイ教育パパぶりを発揮している。しかも野球やスケートのコーチとしてスポーツでも活躍しているというから立派なものだ。その彼の口から最近今時の子供は、などと言う言葉が聞かれるようになった。彼も又、時間の流れと共に立場が逆転してしまった様だ。

そう考えていると、また牛舎の時間になってしまった。牛のエサやりとチチしぼり、北の勝の晩酌を楽しみにして、もうひとがんばりしよう。

◇　◆

▽次の「まちの声」は、中條幸子さん(新古多糠)です。

☆標津町民憲章☆

(昭和46年11月3日制定)

◇健康で働き楽しい家庭をつくりましょう。
◇自然を愛し美しい郷土をつくりましょう。
◇たがいに助け合い暖かい社会をつくりましょう。
◇心を豊かにし文化を高めましょう。
◇子どもの夢を育て平和な町をつくりましょう。

編集のまど

▽今年の広報紙を振り返って見ると、地方交付税の減額による緊縮財政や市町村合併問題など、町を取り巻く非常に厳しい状況の記事が多くなりました。▽厳しい、厳しいばかり言っていても前には進みません。今こそ、自分たちのまちを将来にわたってどうするのか、考える良い機会だと思います。何事もプラス志向で考えたいものです。▽表紙は加工場の屋上で撮影。屋根があったので全体的に暗く写ってしまいましたが、逆にサケの輝きが増しました。これもプラス志向なのか…。(H)

▽環境にやさしい、廃油を再利用した手作り石けん。私も以前から利用させてもらっていましたが、使い心地は抜群。特に油汚れは良く落ちるようです。町消費者協議会では、環境保全や身近なリサイクルに対する理解をしてもらうため、この教室を今後も多くの方に広めたいと話しています。興味のある方は、一度体験してはいかがでしょうか。(U)

人のうごき

・人　口	6,356人	(+ 5)
・男	3,107人	(+ 4)
・女	3,249人	(+ 1)
・世帯数	2,380世帯	(+ 6)

◇平成14年11月1日現在
(　) は前月比

町内の交通事故

・人身事故	2件	(16)
・負傷者	5人	(33)
・死亡者	1人	(2)
・物損事故	23件	(176)

◇平成14年10月1日～10月31日まで
(　) は累計

1月の運転免許更新時講習会

優良運転者で、更新手続きを済ませた方のみ受講できます。

■日　時　1月14日(火) 13時30分～
■場　所　標津町生涯学習センター
★お問い合わせは、住民課まで。

発行日／毎月1日　編集・発行／標津町役場 企画振興課(広報統計担当)
〒086-1632 北海道標津郡標津町北2条西1丁目1番3号 ☎ 01538-2-2131・FAX 2-3011
・広報URL　http://www.shibetsu.org